

地域応援プロジェクト

「みんな泳げる25m運動」 報告書

熊本 YMCA 地域応援プロジェクト「みんな泳げる 25m 運動」

- 目的 I. ウォーターセーフティー_大切な生命を育む活動の一環
II. 水泳に対する苦手意識の軽減と楽しい水泳を学ぶ場の提供
- 主旨 水辺での水難事故を防止し、尊い「いのち」を守り育てるとともに、子どもたちの水辺での豊かな経験が「いのち」を育むことを推進する。
- 日程 2025年6月15日(日)【※全国YMCAウォーターセーフティーデー】
＊ながみねFC、むさしGCC：6月28日(土)開催
- 場所 熊本YMCAみなみグローバルコミュニティセンター(熊本市南区田迎5-12-50)
熊本YMCAながみねファミリーセンター(熊本市東区长嶺南3-1-107)
熊本YMCAむさしグローバルコミュニティセンター(合志市幾久富1866-1339)
- 後援 熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、大牟田市教育委員会、合志市教育委員会
阿蘇市教育委員会、菊陽町教育委員会、益城町教育委員会、御船町教育委員会
- 協賛 ダイードリンク株式会社
- 参加者 熊本市立田迎西小学校児童：13名(3～6年生)
熊本市立画図小学校児童：13名(3～6年生)
熊本市立託麻南小学校児童：22名(4～6年生)
熊本市立託麻東小学校児童：23名(4～6年生)
熊本市立武蔵小学校児童：32名(1～4年生)
- 参加費 無料
- 指導者 熊本YMCAウエルネス事業部職員／リーダー：計13名
ユースボランティアリーダー：計3名

※2025年度は6月15日(日)を「全国YMCAウォーターセーフティーデー」とし、アクアティックプログラムを行っている全国のYMCAで、「着衣泳指導」や「みんな泳げる25m運動」など、様々な取り組みを一斉に開催いたしました。

※「ウォーターセーフティーキャンペーン2025」に関する情報は、熊本YMCAホームページ(右記QRコード)に掲載しております。



■レッスンの流れ (60分設定)

時間(例)	内容
8:45	受付開始 更衣室誘導/更衣
9:00	挨拶・指導者紹介 準備体操・点呼・シャワー
9:05	グループに分かれて入水 泳力確認・目標確認
9:15	練習開始(グループ指導) ■指導ポイント Ⅰ. ボビング /水中での呼吸動作 * 水中で鼻から息を出し、水面に顔がでたら口から呼吸する Ⅱ. けのび→バタ足 /水泳の基本姿勢 Ⅲ. クロール息つき /ゆっくり大きい動作で泳ぐ
9:45	泳力最終確認 * 一人ずつ発表
9:55	退水・点呼・シャワー 挨拶・更衣
	練習内容のフィードバック

■活動写真①



■活動写真②



■活動写真③



■活動写真④



■指導者所感 *指導成果につきましては、別紙参照

水泳に対する苦手意識や不安から緊張する子どもたちも多くいましたが、次第にたくさんの笑顔が見られ、私たち指導者も楽しんでプログラムを運営することができました。最初はおぐることで精一杯だった子どもたちが一人で浮き身やけのびまでできるようになり、息つきクロールの呼吸法を初めてチャレンジした子どもたちが、見事 25m を完泳するなど、多くの感動を共有することができました。

今回の活動を通じ、水泳を好きになることはもとより、自分の生命を守り、育むことの大切さを感じていただければ幸いです。今年度の夏も皆様が安全に楽しく過ごすことができますように心から願っております。

最後になりましたが、各市町村の教育委員会をはじめ、企業や団体の皆様より、ご協賛をいただきました。今後とも地域の水上安全教育に寄与できるよう取り組んでまいります。

以上

熊本 YMCA の使命

1. [共に生きる社会]

人のいたみを感じ、互いに分かち合い、ともに生きる社会の実現に努めます。

2. [地球環境の保全]

人と自然がともに生きていける地球環境を大切にします。

3. [生涯学習の推進]

すべての人々が、出会いを通していつも学びながら成長できる場と機会を提供します。

4. [ウエルネス活動]

生涯にわたりこころとからだの健康をつくり保持する活動を展開します。

5. [ボランティア活動]

地球や国際社会に貢献できるリーダーを育成し、ボランティア運動の輪を広げます。

6. [平和な世界]

アジアの一員としてその歴史に学びつつ、世界の人々とともに平和で豊かな世界の形成に努めます。



みつかる。つながる。よくなっていく。